

釣り海難防止パトロール

mission

秋にかけて急増する釣り中の海難事故を減少させよ

水温	意識不明までの時間	予想生存時間
0～5℃	15～30分	30～90分
5～10℃	30～60分	1～3時間
10～15℃	1～2時間	1～6時間

海中転落した際の水中温度と生存率の関係



海上安全サポーター

宮城県小型船安全協会



令和7年11月10日、宮城県小型船安全協会とともに、漁港にて釣り人に対する釣り海難防止パトロールを実施しました。また、翌日11日にも、海上安全サポーターとともに仙台海港にて同様の活動を行いました。今回の活動では、海難事故に遭わないための※4つのポイントや、冷たい海へ転落した際の危険性について、強く呼びかけを行いました。※4つのポイント

- ①「複数人で行動！」
- ②「ライフジャケットを着用！」
- ③「気象・海象を確認！」
- ④「危険な場所には立ち入らない！」

操業中の海難防止活動実施！

未来の漁業を担う
宮城県水産高等学校の生徒とともに

令和7年10月31日(金)、宮城県石巻市所在の荻浜漁港において、漁船操業中の海難防止活動を実施しました。同活動には、宮城県水産高等学校の生徒が参加し、非常投浮の作成及び投てき体験の他、漁業関係者へ海難防止活動の周知活動を行いました。今回の活動には、複数の報道機関が取材に訪れ、漁業関係者のみならず、多くの方々に海難防止への啓発活動が実施できました。

宮城海上保安部では今後も積極的に海難防止活動に努め、宮城の海をより安全にしていけるよう邁進して参りますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

漁業関係者への呼びかけ



非常灯浮の作成

2025年荒浜漁港水産まつりにてPR活動実施！

ステージイベント
後、来場者に海難防止を呼び掛ける
うみまる



リーフレットや118ティッシュを配布し、海難防止を呼び掛けている様子

令和7年10月11日(土)、わたり温泉鳥の海 西側駐車場で行われた荒浜漁港水産まつりにて「ライフジャケット着用推進活動」及び「密漁防止キャンペーン」を実施しました。本活動は、亘理警察署及び宮城県漁協職員と合同の活動で、当日はステージにて密漁を見つけた際の情報提供などの密漁防止の呼びかけを行いました。その他にも、救命胴衣を着用し、当庁の周知活動も併せて行いました。関係機関と協力して周知することに加え、マスコットキャラクターを用いたことにより、多くの方々に耳を傾けていただくことができました。今後も更なる工夫を重ね、周知活動をして参りますので、応援いただきますと幸いです。